

英語科学習指導案

指導者 T1 : 村本 飛鳥

T2 : Paul Crawshaw

1 日時 令和2年7月17日(金) 5校時

2 学級 2学年(男子8名 女子8名)

3 単元名 Unit2 A Trip to the U.K.

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領(平成29年告示)の目標の「話すこと(発表)」の(イ)「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」に位置付け、聞き手にわかりやすく表現する。言語の働きとしては、「(オ)話すこと(発表)」の「(イ)日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動」のことであり、適切な表現を選択し、理由を述べながら相手に伝えることを目標に設定した。

本単元は、中学2年生の光太がゴールデンウィークにロンドンで働く姉の絵美を訪ねる場面となっている。光太が渡航する前には、未来を表す「be going to」が用いられ、入国審査の場面では「Show me your passport.」といったSVOOの形が導入されている。また観光の場面では「call~を…と」のSVOCの文型が用いられており、名所を紹介するのに便利な表現が含まれている。ロンドンやオックスフォードに関する観光の解説は、日本や広島の名所、地域についても紹介するのに参考になる題材である。

(2) 生徒観 (省略)

(3) 指導観

本単元は「話すこと(発表)」を目標としているため、発表で使わせたい文型やフレーズを習得させ、教科書本文に提示してあるロンドンやオックスフォードの紹介文の内容分析を通して、まとまりよく発表できるよう段階的に指導していく。1年次3学期より続けてきたスモールトークや2年次から始めたプレゼンボードを活用した即興的なやり取りを通して話すことに慣れさせてきた。

本時は、ALTに自分がオススメしたい場所についての紹介を考える時間とする。紹介はただ単にありきたりの事実だけでなく、ALTにとって新しい情報を提供することを目標とする。そのために自分の経験や自分だけが知っている知識などを用いて説明しなければならない。そのために、生徒同士で知りたい内容について引き出す質問タイムを設け、どんな情報が有益なのか気づかせたい。質問から得たキーワードをもとに、グループで発表練習を行い、お互いにアドバイスし合うことで、さらに内容を深めたり広げたりさせる。「話題を切り出す」→「質問する」→「情報を整理する」→「発表する」といった活動を通して、暗記に頼らず、できるだけ自分の知っている言葉を用いて考えながら伝える力を養ってきたい。

5 単元の目標

○聞き手にとって新しい発見があるような内容になるように工夫している。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○知っている情報を整理し、まとまりよく伝えることができる。

(表現の能力)

○まとまりのある文章を読んで、大事なポイントを理解することができる。

(理解の能力)

○未来を表す be going to や SVOO, SVOC の形・意味・用法に関する知識を身につけている。

(言語や文化についての知識・理解)

6 単元の評価規準

(ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	(イ) 表現の能力	(ウ) 理解の能力	(エ) 言語や文化についての知識・理解
①聞き手にとって新しい発見があるような内容になるよう工夫している。 ②身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の知っている情報などを話している。	①夏休みの旅行予定について、適切に伝えることができる。 ②知っている情報を整理し、まとまりよく伝えることができる。	①本文のあらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 ②搭乗案内や機内放送や~を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。	①未来を表す be going to の形・意味・用法を理解できる。 ②SVOO の形・意味・用法を理解する。 ③SVOC の形・意味・用法を理解する。

7 指導計画 (全9時間) 本時 (8/9)

本単元で身に付ける(働かせる) 見方・考え方		外国語で表現し合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること					
時	学習内容	関				評 価	
		表	理	知	評価規準		評価方法
1	単元の目標を理解し見通しを持たせる。 未来を表す be going to の形・意味・用法を理解する。				◎	◎未来を表す be going to の形・意味・用法を理解できる。(エの①)	単元テスト 定期テスト
2	SVOO の形・意味・用法を理解する。				◎	◎SVOO の形・意味・用法を理解する。(エの②)	単元テスト 定期テスト
3	SVOC の形・意味・用法を理解する。				◎	◎SVOC の形・意味・用法を理解する。(エの③)	単元テスト 定期テスト
4	ロンドンの特徴を解説する英文を読んで、その内容や文章の構成を理解する。			○		○本文のあらすじや大切な部分などを読み取ることができる。(ウの①)	単元テスト
5	オックスフォードについて解説する英文を読んで、その内容や文章の構成を理解する。			○		○本文のあらすじや大切な部分などを読み取ることができる。(ウの①)	単元テスト
6	海外旅行の際の搭乗案内や機内放送を聞いて内容について理解する。			○		○搭乗案内や機内放送を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。(ウの②)	リスニングテスト
7	夏休みの旅行計画を立て、予定を伝え合う。		○			○夏休みの旅行予定について、適切に伝えることができる。(イの①)	活動観察
8 本時	オススメした場所についての紹介文を考える。	○				○聞き手にとって新しい発見があるような内容になるよう工夫している。(アの①)	ワークシート
9	パフォーマンステスト 単元テスト	◎				◎身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の知っている情報などを話している。(アの②) ◎知っている情報を整理し、まとまりよく伝えることができる。(イの②) ◎単元で学習した文型の形、意味、用法を理解できる。(エの①②③) ◎～についての解説を聞き、概要や要点を聞き取ることができる。(ウの②)	パフォーマンステスト 単元テスト 定期テスト

8 本時の展開

(1) 目標

◎自分がオススメしたい場所について、ポール先生にとって新しい発見ができるような発表原稿を作成できる。

(2) 学習の主な流れ

時間	学習活動 ○予想される生徒の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (方法)
10	1 WH 質問を多様に使う帯活動 (Routine Work) (1) ペアになり、一人がカードに表示されている単語が答えになるような質問を相手にする。 (2) 交代する。	◆発話に困っている生徒のところを中心に机間指導する。 ◇活動の際に質の高い質問をしていたら評価をする。	
1	2 本時のめあてを確認する 自分がオススメする場所について、ポール先生にとって新しい発見ができるようなプレゼンを考えよう。		
6	3 課題解決に向けての見通しを持つ (1) 対話の例を示す(10 をご参照ください。) (2) 対話の内容を確認し、プレゼンにおいて大事なポイントを確認する ①どんなことがわかったか ②聞き手はどんな質問をしたか (3) 本時の流れを説明する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①グループで発表し合う。 ②聞き手は、発表者のプレゼンが深まるような質問をしてあげる。 ③発表者は仲間からの質問をもとに、内容をさらによくしていく。 </div> (4)最終的にめざしてほしいモデルを紹介する。(10 をご参照ください。)	◆ALTがどんな質問をしていたか板書して示す。 ◇仲間の質の高い質問が発表者のプレゼンをより深い内容することを伝える。 ◇ゴールを意識させる。	
30	4 課題について考えていく (1) 準備してきたキーワードをもとに、発表する構成を頭の中でまとめる。(2分) (2) 4人1組になり、そのうちの1人が3人に紹介したい場所について紹介する。聞き役の3人は発表者のプレゼン内容を深めたり広げたりするような質問をする。(2分×4人) (15分) (3) 仲間からの質問や仲間の発表を聞いたりして、プレゼン内容を再考する。(7分) (4) 全体でシェアリングする(6分)	◇T1, T2:生徒が質の高い質問をしていれば取り上げて紹介する。 ◆ T1, T2:困っている生徒の手助けをする。 ◇T1T2 参考にできそうなプレゼンを作っている生徒を見つける。 ◇T1T2 発表した生徒への肯定的な評価をする。	ワークシート
3	5 振り返り ①仲間のプレゼンを深めるためにどんな質問やアドバイスができたか。 ②自分のプレゼンの内容をさらによくするためにはどうしたらよいか。		

10 「ポール先生とのやり取り」と「めざしてほしい単元のゴール : Short Presentation」

T1: Look at this picture. Can you guess what?

T2: Hmmm...It's like a boat.

T1: Yes. It's a boat. It's a hotel boat. Its name is Gantu.

T2: Gantu? Where can you see it?

T1: You can see this boat in Seto Inland Sea.

T1: How big is this boat?

T2: Oh, sorry...I don't know.

T2: What can you enjoy there?

T1: You can enjoy delicious food, taking a bath, relaxing with spa and so on.

T2: Where can we get on the boat?

T1: Oh, sorry...I don't know.

T2: How much does it cost a night?

T1: It costs about 500,000 yen for 2 persons.

T2: Wow! It's too expensive.

T1: Yes. But Gantu is always moving so you can enjoy different beautiful views.

T2: Oh, I see.

<めざしてほしい単元のゴール>

Look at these pictures.

I am going to tell you about this boat.

Its name is Gantu. You can see this boat only in Seto inland sea. It is 81.2 meters long and has only 19 rooms. It costs about 500,000 yen for 2 persons a night. You can take this boat from Fukuyama. You can have delicious food like sushi, BBQ and so on there. You can also enjoy taking bath, relaxing with spa. Gantu is always moving so you can see many different beautiful views of Seto Inland Sea. (92 words)